

講義名	日本語総合 A			授業形態	
担当教員	小笠原 愛子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	JPN100

主題と概要
この授業では、学部留学生としての大学生活に必要な日本語能力を身につけ、向上させるため、日本語の文法項目を広く学び、日常生活だけでなく、大学での授業を理解し、試験・レポート等に対応するための文法項目を理解し、さらに運用できるようになること、日本語能力試験に対応できるようになることを目的とする。

到達目標
大学での学習に必要な文法項目について理解し、それらを運用できるようになる。 日常のコミュニケーションだけでなく、大学の授業を理解し、自らの考えを構築して伝えられるようになる。 日本語能力試験合格でできる日本語能力を身につける。 文法項目の意味を理解し、適用することに加え、使用場面についても適切に判断できるようになる。

提出課題
課題・小テストなどを授業内で指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
授業中に解答を提示し、解説する。

評価の基準
授業内の課題・小テスト（30％）、 理解・定着度確認テスト（各35％×2＝70％）

履修にあたっての注意・助言他
・毎回出席をとる。 ・欠席が5回以上の場合、成績評価の対象としない（放棄したものとみなす）。 ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。 ・遅刻（14分以内）5回で欠席1回としてカウントする。 ・小テストは授業の最初に行う。5分以上遅刻した場合、小テストを受けられず、0点扱いとなる。 ・鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム、赤ペンを必ず持参すること（マークテストではボールペン使用不可）。 ・辞書を持参すること。

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回出欠をとる。
- ・欠席が5回以上の場合、成績評価の対象としない（放棄したものとみなす）。
 - ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。
- ・遅刻（14分以内）5回で欠席1回としてカウントする。
- ・小テストは授業の最初に。5分以上遅刻した場合、小テストを受けられず、0点扱いとなる。
- ・鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・赤ペンを必ず持参すること（マークテストではボールペン使用不可）。
- ・辞書を持参すること。

教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.増補改訂版 日本語総まとめ N2文法.	佐々木仁子・松本紀子	アスク	1320		978486639488
.日本語能力試験公式問題集第二集N2.	独立行政法人 国際交流基金	凡人社	700		9784893589378
.新完全マスター文法N2.	友松悦子・福島佐知・中村かおり	スリーエネットワー ク	1200		9784883195657

その他
授業中に資料を配付する。

授業計画
第 1 回 授業に関するオリエンテーション／レベルチェックテスト 予習内容：シラバスおよび参考図書（特に「日本語 総まとめN2文法」）を見て予習をする。例文は音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業中に配布した教材およびテストの復習をする（120分） 第 2 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 3 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 4 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 5 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 6 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 7 回 理解・定着度確認テスト 予習内容：前回までの授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（180分） 復習内容：テストの復習をする。例文・問題文を音読する。（60分） 第 8 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 9 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 1 0 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 1 1 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 1 2 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 1 3 回 文法事項の確認・問題演習・小テスト 予習内容：前回の授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（120分） 復習内容：授業で扱った教材およびテストの復習をする。例文・問題文を音読する。（120分） 第 1 4 回 理解・定着度確認テスト 予習内容：前回までの授業で配布した教材を予習する。例文を音読し、問題を解く。（180分） 復習内容：テストの復習をする。例文・問題文を音読する。（60分） 第 1 5 回 学期のまとめ・フィードバック

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A1型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
留学生を対象とする日本語科目である。本学で学び、真に豊かな社会を思い描いてその実現に貢献するビジネスパーソンとしての見識と能力を身につけるため、社会生活と学修に必要な日本語能力を身につけると、その能力をより向上させることをめざす。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考